

野菜畑作生産情報 第5号（要約版）

平成29年8月18日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

◎ながいも、ねぎ等の根菜類・葉菜類の生育は順調。トマトでは一部着色が遅れ気味。
◎品目やほ場に応じて病虫害防除と排水対策を徹底しましょう！
◎低温、日照不足が続いているので、特に病害に注意し、防除を徹底しましょう。

○大豆

- 1 生育は、ほぼ平年並となっている。
- 2 食葉性害虫の早期発見・早期防除に努めるとともに、マメシンクイガや紫斑病の適期防除を徹底する。
- 3 台風や大雨に備え、明きよを手直しして排水溝へ接続するなどの対策を徹底する。

○小麦（は種の準備）

- 1 適期（9月15日～25日）には種できるようなほ場を準備する。
- 2 ほ場の団地化を図り、明きよや弾丸暗きよなどで十分な排水対策を行う。
- 3 紅色雪腐病の被害を予防するため、種子消毒を行う。

○ながいも

- 1 生育は、おおむね順調である。
- 2 葉渋病、炭疽病など病害の防除を徹底するとともに、ナガイモコガ、アブラムシ類などの害虫の早期発見・早期防除に努める。
- 3 台風など強風や大雨に備え、ネットや支柱を補強し、明きよを手直しして排水溝へ接続するなどの対策を徹底する。また、植溝が陥没したときは速やかに埋め戻す。

○にんにく

- 1 病虫害が発生していないほ場を選んで作付ける。
- 2 堆きゅう肥や土壌改良資材は、土壌診断結果に基づいて施用し、必要量以上に投入しない。
- 3 病虫害に汚染されていない種子を確保し、種子消毒して使用する。
- 4 種球の分割・調製はできるだけ植付け直前に行う。

○夏だいこん

- 1 生育は、出芽が良好で順調である。
- 2 軟腐病、キスジノミハムシの防除を徹底する。

○秋にんじん

- 1 生育は、地上部、地下部とも平年を上回り、順調である。
- 2 黒葉枯病、ヨトウムシなど病虫害の早期発見・早期防除に努める。

○ごぼう

- 1 生育は、地上部、地下部とも平年並で順調である。
- 2 黒斑細菌病などの防除を徹底する。

○夏秋トマト

- 1 5月上旬定植では7段果房、5月中旬定植では5段果房の収穫始めとなっており、県南地域では、7月下旬以降の低温により着色が遅れ気味となっている。
- 2 肩換気などにより適正な温度管理に努める。また、十分なかん水、適切な肥培管理により草勢の維持に努める。
- 3 9月以降は裂果の発生が多くなるので、土壌水分が極端に変化しないようにする。
- 4 灰色かび病、葉かび病、アザミウマ類の防除を徹底するとともに、タバコガ類、コナジラミ類の早期発見・早期防除に努める。

○ねぎ

- 1 生育は、草丈、茎径とも平年並で順調である。
- 2 最終培土は、収穫の30日前頃に行い、葉の分岐部まで丁寧に土を寄せ、軟白長30cm以上を確保する。
- 3 べと病、軟腐病、さび病、黒斑病、アザミウマ類など病害虫の防除を徹底する。

◎ほ場を見回るなど農作物の盗難防止に努めましょう。

◎決め手は土づくり！ 日本一健康な土づくり運動展開中！

◎農薬は適正に使用しましょう。

- 1 農薬の飛散を防止する！
- 2 農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てない！
- 3 農薬を使用する場合には、必ず最新の農薬登録内容を確認！

農薬情報 (http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)

農薬登録情報提供システム

【詳細検索】 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)

【作物名検索】 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp101.jsp>)

◎農作業中は熱中症に気をつけましょう。

- 1 日中の暑い時間帯は作業を避けるとともに休憩をこまめに取る！
- 2 通気性の良い作業着や帽子を着用し、汗で失われる水分や塩分を十分に補給する！



報道機関用提出資料	
担当課	農産園芸課 野菜・畑作物振興グループ
担当者	井澤 主査
電話番号	直通 017-734-9481 内線 5078
報道監	農林水産部 田中 農商工連携推進監 (次長) 内線 4966